

ADVISER

キャリアコンサルタント
村本麗子氏



ビジネスマンスクール東京・札幌の上席講師として年200回以上の授業に登壇。公共団体や企業への研修の提供や、企業、経営者、起業家へのコンサルティングや講演など、活動は多岐にわたる。脳科学理論をベースとしたコーチングでは、北海道における第一人者。株式会社ヒト・ラボ 代表取締役。

キャリアアドバイザーに聞いた!



転職サリセス への道

ROAD TO "TENSYOKU SUCCESS"

vol.27

「まず電話でべ」応募を」の意図とは?

求人情報のなかに「電話で応募を」という表記を見かけることがあります。メールやスマホアプリの発達で「電話は苦手」という人も多く、困惑してしまう人もいます。電話連絡を求める求人者の背景や電話をかける時の注意点などについて見てみましょう。

電話で直接面接日を打ち合わせるケースが大半

一般的な求人の流れは、まず履歴書を郵送するかウェブサイトからエントリーし、企業側でその内容を確認してから面接の連絡がくる、というものです。「まず電話連絡を」という場合は、その電話で「〇日に履歴書持参で面接を」というような相談をすることが多いので、「面接前の履歴書による審査」というワンストップが省かれている可能性があります。

「急募」「まずは面接」というケースも多いので臆せず電話を!

どうしてこういった求人の仕方をするかといえば、「急いで採用をしたい」といったスケジュール的な問題や「まずは実際に会ってから判断したい」という採用方針、スキルよりも人柄・やる気

重視の求人であることなどが考えられます。

「電話が苦手」でも興味のある求人であれば「まず電話でご応募を」に臆するのはもったいないこと。ぜひチャレンジしてみましょう。

電話での応募は基本的なビジネスマナーを意識して

電話をする時にはメモができるよう筆記用具を用意し、静かな場所でかけるようにしてください。声のトーンはやや高めが好印象。ボンボンと話すのはNGです。ハキハキとした話し方を心がけてください。面接希望日に関しては、事前に第3候補くらいまで考えておけば安心です。念のため電話をかける時には先々のスケジュールも確認しておきましょう。もし質問したいことがあれば、あらかじめメモしておくことをおすすめします。電話応対をしてくれた人、採用担当者のお名前を

メモすることも忘れずに。

電話応募は、基本的なビジネスマナーさえできていれば何も問題ありません。

自信を持って電話をかけてください。ビクビクせず、自信を持って電話をかけてください。